

川崎重工グループは、世界を取り巻く社会課題に対し、多様で高度な技術力を駆使して課題解決に貢献することにより、新たな価値を創造し続けます。

社会課題の解決に貢献

グローバルな社会課題



- グローバル化に伴う移動・輸送の活発化
- 環境リスクの高まり
- 新興国：社会インフラの不足
- 先進国：高齢化・労働人口の減少

川崎重工グループの経営資源  
(2017年度実績)

- 財務資本**
- 投下資本: 9,127億円
- 製造資本**
- グローバルな生産体制
- 設備投資: 821億円
  - 主要製造拠点 日本: 18か所 海外: 21か所
- 知的資本**
- 120年にわたる経験・ノウハウ
  - 広範な領域における高度な技術力
  - 研究開発費: 454億円
- 人的資本**
- 最高品質を追求する技術集団
- 従業員数: 35,805人
- 社会/関係資本**
- Kawasaki ブランド
  - 長年蓄積された取引先との信頼
- 自然資本(単体)**
- エネルギー使用量(原油換算合計) 16.1万kl
  - 原材料(鋼材)素材としての購入量 14万トン

戦略と事業ビジョン



詳細はp11

「中計2016」基本方針

- 「Kawasaki-ROIC\*経営」のさらなる推進
- 中長期的な成長に向けた投資
- 事業構造の変革

Kawasaki-ROIC経営

- ビジネスユニット(BU)単位のコアコンピタンスの強化を通じた成長戦略の立案・実施
- ROICを中心としたあるべき財務指標の設定と具体的な達成シナリオの策定
- 総合経営を活かしたシナジー効果の追求による新たな価値創造
- Sub-BUや製品単位までブレイクダウンした縮小・撤退戦略の明確化
- 収益性・安定性・成長性を重視した事業ポートフォリオの構築

環境経営活動

詳細はp43

コーポレート・ガバナンス

詳細はp45

人財の育成と活用  
働き方改革(K-Win活動)の推進

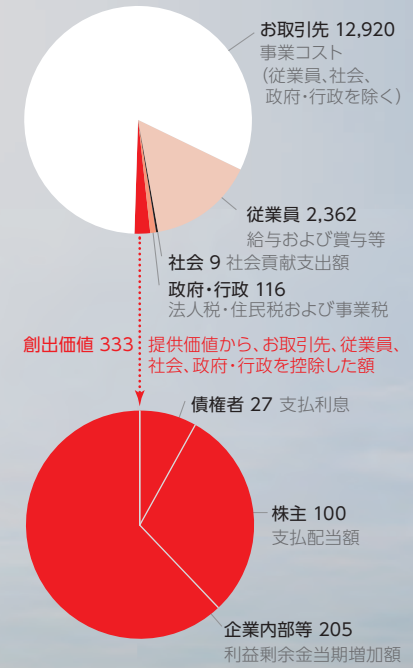
詳細はp21、49

経営資源の蓄積と循環

主なアウトプット (2017年度実績)

- 税引前ROIC 3.9%
- ROE 6.4%
- 事業活動によるCO<sub>2</sub>排出量(単体) 32.8万トン
- 製品貢献によるCO<sub>2</sub>排出量の削減効果(単体) 2,292.4万トン

創出価値およびステークホルダーへの価値配分(億円)  
提供価値(売上高) 15,742



創出する社会価値

- 陸・海・空における安心・安全、クリーン、快適な移動・輸送手段の提供
- クリーンエネルギーの創出
- 新興国を中心とした社会インフラの充実
- 自動化による高齢化・労働力不足への対応

\* ROIC: Return On Invested Capital. 事業に投下した資本に対して、どれだけの利益を上げているのかを図る指標